



～戮力協心～ NO.28

2023年2月16日

発行責任者 池尻 和寛

編集責任者 情 宣 部

2023 JR総連春闘 第1回交渉～収入動向～

中央本部は2023年2月15日に、23春闘第1回交渉を行なってきました。

収入動向

- ・営業部門は、新型コロナウイルス及び物価上昇による消費の低迷、BCP（事業継続計画）による鉄道利用率の見直しに加え、風雪害の影響を受け、全ての品目で計画を下回り、対計画△9億5400万円（90.2%）となった。また、対前年においては、農産品・青果物を除くすべての品目で前年を下回り、対前年△5億6600万円（94.0%）となった。
- ・2月14日の営業日報にて、月間累計輸送実績は対計画95.3%で対前年111.4%。年間累計輸送実績は対計画98.6%で対前年99.3%のコンテナ収入だった。
- ・事業開発部門は、2022年度初計画において281.6億円に対し、1月期改定にて289.5億円と上方修正を行なったが、計画通りに達成する予定である。

組合から

- ・会社として次年度にむけてどのように課題（客離れ、新規獲得、BCP 対策等）を解決するか示すことが必要である！来年度の事業計画が策定されるが、私たちの賃金に関わる問題がある！
- ・物価上昇により組合員の負担は非常に大きい！
- ・社内で要求通りのベアを出す議論をするべき！

対計画において収入は悪いように見えるが昨年決算よりコンテナ収入15億円増としている！
年々収入を伸ばしている事からベアを出せない事はない！